

人間学基礎セミナーⅠ

科目ナンバリング SEM-204
選択 2単位

井上 義和

1. 授業の概要(ねらい)

前期のテーマは「特攻と自己啓発——事例収集編」。『未来の戦死に向き合うためのノート』をテキストに用いて、「いまだ名づけられていない現象」に該当する事例を探す方法を考え、実際に自分たちで事例探索をおこなう。期末レポートは、テキストと授業をふまえて各自の問題関心にそって資料収集して分析・考察する。なお、後期のテーマは「特攻と自己啓発——分析説明編」、現象の分析から「なぜ」を考察し説明する方法を学ぶ予定。

2. 授業の到達目標

- ・「いまだ名づけられていない現象」と具体的事例を結びつける説明ができるようになる。
- ・自分が考えたことや調べてきたことを全体の前で発表できる。
- ・テキストと授業をふまえて、問いを立てレポート作成することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点 20%
- ・発表・課題 30%
- ・期末レポート 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

井上義和 未来の戦死に向き合うためのノート 創元社

参考文献

井上義和 特攻文学論 創元社

5. 準備学修の内容

- ・テキストによる予習、任意提出課題など。

6. その他履修上の注意事項

- ・第2回以降の欠席が5回を超えた場合、期末レポートを受理しないので注意すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 テキストの紹介、成立の背景
- 【第3回】 特攻の歴史(1)——太平洋戦争の推移と特攻作戦
- 【第4回】 特攻の歴史(2)——誰が特攻隊員になったのか
- 【第5回】 特攻の歴史(3)——特攻隊員の現実
- 【第6回】 特攻の歴史はどう受容されてきたか(1)——平和教育と慰霊顕彰
- 【第7回】 特攻の歴史はどう受容されてきたか(2)——エンタテインメント
- 【第8回】 特攻の歴史はどう受容されてきたか(3)——自己啓発
- 【第9回】 特攻の自己啓発的受容の事例(1)
- 【第10回】 特攻の自己啓発的受容の事例(2)
- 【第11回】 特攻の自己啓発的受容の事例(3)、期末レポート課題について
- 【第12回】 期末レポートの進捗報告(1)
- 【第13回】 期末レポートの進捗報告(2)
- 【第14回】 期末レポートの提出、発表
- 【第15回】 期末レポートの講評、振り返り(※LMSの授業ファイル、およびツイキャスによるラジオ配信)